

次世代太陽電池の試作



次世代太陽電池と言われている色素増感太陽電池を、ブルーベリージュースなどを用いて試作してもらい、その理論を簡単に学ぶとともに、化学者のアイデアが環境・エネルギー問題に大きく貢献していることを知ってもらいます。本学学内でのみ実施可能です。  
(学内開催のみ)

SDGsに挑む人工光合成



現在、大気中のCO<sub>2</sub>濃度増大による気候変動や、石油などがなくなる資源枯渇が問題になっています。これらの問題の解決方法の一つとして研究されている「人工光合成」について、どのようなものか、どこまで研究が進んでいるのかお話しします。

QOLも向上、究極の医療用金属・無機材料



我々の体の中に「金属」は存在しません。体の中に入れて「異物」と認識されます。しかし、体内埋入用デバイスの約80%は金属でできています。なぜ、金属材料が多用されるのか、体になじませる工夫、さらには治癒を促進させる新技術について解説します。

有機化学の切り拓く未来~身近な有機分子やエネルギー・環境問題を解決する化学反応~

化学



皆さんの周りには有機分子があふれかえっています。知らず知らずのうちに有機分子を吸い込み、食べ、眺めています。本講義では、有機分子がいかに皆さんの生活に浸透し、なくてはならないものであるかについて学ぶとともに、有機化学が切り拓く未来についてお話しします。

関大メディカルポリマー (KUMP) で拓く新しい医療

2年生以上

化学



本学で開発された医療用的高分子材料(関大メディカルポリマー：KUMP)は、医学と工学の境界領域から明日の医療を変えていきます。特に体の中で無毒な成分に分解し、まわりの環境で性質を変える「賢い」ポリマー(スマートポリマー)を使った新しい医療の方法について解説します。

ナノの世界へようこそ -エレクトロニクス・医療・環境浄化を支える“ナノ化学”-



「環境・エネルギー」「ヘルスケア」「エレクトロニクス」分野で革新を生むナノ物質(ナノ=10<sup>-9</sup>m)。本講義では、サイズが変える物質のふるまいと、その応用につながる化学のしくみを紹介します。

日用品にひそむ科学

-洗剤・化粧品・塗料を“マイクロ視点”で解き明かす-

化学



洗剤・化粧品・塗料は、水や油、固体粒子が混ざった“多成分の材料”です。それらを安定に混ぜ合わせ、機能的に仕上げるには、水と油、固体の境目で起こる「界面の化学」を理解することが不可欠です。身近な日用品の仕組みをマイクロの視点で解説します。

健康や環境にゼリーで挑む

-大量に水を含む高分子ヒドロゲルの科学-

化学



高分子ヒドロゲルは高分子鎖が多量の水を含んで膨潤した物質です。高分子ヒドロゲルは取り込んだ水を長時間保持することができるため、砂漠の緑化への応用が検討されています。また、温度などによって含んだ水を吐き出す刺激応答性ヒドロゲルも作られており、薬を放出する医薬への応用も展開されています。本講義では、最新の高分子ヒドロゲルについて紹介します。

超高性能な半導体を作成するために必要な超簡単な化学反応について



携帯電話、パソコン、インターネット、自動運転自動車、さらには会話可能なロボットなど、IT革命により電子機器類が劇的に進歩を遂げ、これからも進化しようとしています。それら電子機器類の頭脳部に相当するのが半導体です。その半導体の作成には、化学の知識と材料が必要不可欠で、そのような化学材料は電子材料と呼ばれます。本講義では、いい仕事をしてくれる電子材料について解説します。

私たちの生活の中でのセラミックス



もともとは瀬戸物・焼き物であったセラミックスは、この100年の間に大きい変貌を遂げ、今日では自動車、携帯電話、ファンデーション、人工骨など、先端技術のあらゆる分野で活躍しており、しかも私たちの生活の中にしっかりと根を下ろしています。これらセラミックスの活躍について紹介します。

環境調和型社会を支えるニッケル -水素電池

化学



充電して繰り返し使える電池「二次電池」は今や私たちの生活にはなくてはならないものです。本講義では、ハイブリッドカーや、充電可能な単三、単四型電池などで使われる、日本で初めて商用化された二次電池「ニッケル-水素電池」について学びます。

未来を切り拓く水素エネルギーシステム



化石燃料の大量消費に伴う地球温暖化や福島第一原子力発電所事故などは、これからのエネルギーを今たちが真剣に考えなければならないことを示しています。本講義では、実用化されつつある次世代のエネルギー「水素エネルギー」について学びます。

グリーントランスフォーメーション(GX)に貢献する窒素を活用したプラズマ窒化処理

化学



身の回りの金属材料には、自動車や鉄道車両など回転運動をした大きな荷重を支えたりする部品があり、部品の材料表面が摩耗しないようにする必要があります。その一例としてプラズマ窒化処理があり、炭素を用いないため温室効果ガスの排出削減に繋がります。

世界が注目する金属3Dプリンターによるモノづくり



従来の3Dプリンターは樹脂材料が主流でしたが、金属3Dプリンターは金属の粉末を材料とするため、医療分野をはじめ、自動車や航空機など、新しい産業分野への利用も期待されています。近年製造業界で注目を集めている金属3Dプリンターの技術について紹介します。

色の世界を楽しむ

2年生以上 化学

シリカゲルのように水にふれると色が変化するもの、リトマス試験紙やフェノールフタレインのように酸や塩基(アルカリ)を加えると色が変化するものなど、身の回りを見渡せば色が変化する物質がたくさんあります。これらの色の変化は化合物の構造が変化(化学変化)することで起こります。本講義では、色の変化を実際に体験しながら学びます。

天然に倣う高分子合成と応用



生体分子をはじめとした天然由来高分子は、その構造に基づき精密且つ高度な機能を発現します。本講義では、このような天然分子に倣い、優れた機能を有する高分子を人工的に合成する手法を学び、我々の生活とどのような関わりがあるかを説明します。

「くすり」の仕組み

—科学の力で薬を創る—

2年生以上 化学



病気を治療する医薬品は、物理学、化学、生物学などの科学技術を結集して創り出されます。医薬品となる化合物を合成する技術や、それらから医薬品の候補となる化合物の生理活性を評価する技術は、大学で学ぶことができる有機化学や生化学が基盤となっています。皆さんの身近にある医薬品を通じて、化学や生物といった理科学科の学習や研究の重要性について紹介します。

微生物と環境修復

—微生物の秘められた可能性をもとめて—

2年生以上 生物基礎



微生物は、天然有機化合物を分解し、生きるのに必要なエネルギーや細胞成分を獲得することから、分解者と呼ばれています。近年、人工化合物も分解できる微生物が見つかり、「便利屋さん」として期待されています。本講義では「便利屋さん」としての能力とその利用法を解説します。

微生物の力で健康を守る —乳酸菌のはたらき—



腸内には100兆個を超える細菌がすみ、私たちの健康に大きく関わっています。中でも腸内ではたらく乳酸菌などのプロバイオティクスに注目し、その役割と健康への応用研究を紹介します。

植物の細胞分裂を観る

3年生 生物

細胞分裂は、有糸分裂とそれに続く細胞質の分裂によって行われます。有糸分裂の仕組みは動物細胞と植物細胞でよく似ていますが、植物の細胞質分裂の仕組みは、動物とは大きく違います。本講義では、植物の細胞分裂の仕組みと、それを観察するための方法を紹介しながら解説します。

化学・物質が担う省エネと安全・安心  
—マテリアル編—



高校で習う化学が大学でどのように発展し、私たちの生活とどのように関係しているかについて講義をします。「自動車と電車のどちらが省エネ?」、「身近な製品に毒性物質が含まれている?」、「安心・安全とは“今”ではなく“いつまで”が重要」の3つをテーマとし、各技術の概要と化学との関連を説明します。

食生活と健康の関係 —食品に求められる健康機能—



私たちの食生活は食糧不足から、復興期、高度経済成長期を経て、欧米化が進み、現在の形態に落ち着きました。また食生活の変化とともに、死因別死亡率も大きく変わりました。本講義では、食生活と病気の関係について説明し、近年食品に求められている健康機能性を紹介します。

殺菌・除菌・洗浄

—微生物は本当に怖いのか?—

2年生以上 生物基礎



微生物が繁殖すると不潔に感じます。その一部には病原菌も含まれます。身近な環境で微生物がどの程度生息しているのか、それらの特徴を示しながら説明します。最新の微生物検出法や殺菌法もわかりやすく解説し、克服できない微生物制御の課題もお話しします。

微生物の優れた能力と未知なる可能性

微生物には、感染症や食中毒など人にとって悪い働きをするものがありますが、食品・医薬品・エネルギー生産や環境浄化に関与する、人や環境にとって良い働きをするものもあります。微小な生物達の魅力とそれらの能力を利用した技術や製品を紹介します。

みんなが持っている体内時計って?

朝に目覚め、夜に眠る、海外旅行の際に時差ボケになる、といった経験から、私たちの体に備わっている体内時計を実感したことがあるかと思います。このセミナーでは、体内時計が外界の明暗周期ではなく、生体が自律的に生み出すことと、その重要性についてお話しします。